

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
期末配当金受領株主確定日 3月31日  
中間配当金受領株主確定日 9月30日  
定時株主総会 毎年6月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(お問い合わせ先) 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)  
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
(下記ご注意ご参照)

### 【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL 0120-244-479 (通話料無料)

インターネットアドレス <http://www.tr.muif.jp/daikou/>

上場証券取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告により行う

公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意) 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

## 神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



**KOBELCO**  
神戸製鋼グループ

つくる、むすぶ、ひらく。

株主・投資家のみなさまへ

# 第91期 中間報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

 **神鋼商事** 株式会社

〒550-8512 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号

電話 (0120)580-217

<http://www.shinsho.co.jp>



 **神鋼商事** 株式会社

証券コード：8075

### 〔中長期的な経営戦略および目標とする経営指標〕

当社グループは、平成18年度を初年度とする3カ年の「連結中期経営計画」の目標ビジョンである「メーカー商社としての基盤強化」、「事業環境に左右されない収益確保に向けた体制構築」の達成に向け、「チャレンジ10」を全社共通スローガンとして積極的に取り組んでおります。

### 〔基本方針〕“チャレンジ10”

1. シェアアップ10  
神戸製鋼グループにおける取扱いシェアの拡大
2. グロスプロフィットプラス10  
海外ビジネス強化などによる売上総利益の増加
3. コストダウン10  
業務効率向上による総経費の削減

## C O N T E N T S

財務ハイライト(連結)	1
株主のみなさまへ	2
連結部門別概況	3・4
連結決算	5・6
トピックス	7
株式の状況	8
役員/会社概要/事業所	9
株券電子化実施に伴うお知らせ	10

## 財務ハイライト (連結)



## 株主のみなさまへ

### 企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。素素は格別のご支援とご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。さて、第91期中間期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国金融不安の長期化による世界的な景気減速や原材料価格の高騰などの影響を受けて、企業収益が減少するなか設備投資にも力強さを欠き、また、物価上昇から個人消費も弱まるなど、景気の減速感が一段と強まってきました。

このような環境下ではありましたが、当社グループは、鉄鋼製品を中心に、自動車、造船等の需要家業界向けが堅調に推移したことに加え、今年度より株式会社神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料の取扱いを開始したことなどから、増収、増益となりました。また、昨年販売を開始したスクリュ式小型蒸気発電機「M.S.E.G.」の新機種の販売を開始し、メニューの拡大を図るとともに、製品呼称も「スチームスター」に改めました。さらに、連結子会社である神商非鉄株式会社の関西工場の移転、拡充を決定し、これをアルミ薄板事業の再構築と位置づけ、日本と中国・蘇州市（蘇州神商金属有限公司）におけるアルミコイルセンター事業二極化による安定的な供給体制を図るなど、神戸製鋼グループにおける中核商社として、国内外ビジネスを積極的に展開しました。一方、財務面では、新たに商業紙の新規格付けを取得し、資金調達が多様化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、567,513百万円（前年同期比62.1%増）、営業利益は5,155百万円（前年同期比13.3%増）、経常利益は4,909百万円（前年同期比6.6%増）、四半期純利益は2,924百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

当期の中間配当金につきましては、所期の業績を達成いたしましたので、予定どおり1株につき4円とし、お支払い開始日を12月1日とさせていただきます。なお、1株あたりの年間配当金は8円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年11月



代表取締役社長  
森脇 亞人

## 連結部門別概況

### 鉄鋼セグメント



線材製品は、自動車業界向け需要が堅調に推移し、また、鋼板製品も、造船業界を中心に需給は逼迫したものの、全体として堅調に推移しました。加えて、線材製品、鋼板製品ともに価格が上昇したことから取扱いが増加しました。

チタン・ステンレス製品は、新規顧客向け販売が寄与したことなどにより取扱いが増加し、棒鋼製品も、マンション業界向けが不振でしたが、価格上昇により取扱いは増加しました。これらにより、鉄鋼セグメントの売上高は166,309百万円(前年同期比27.7%増)、営業利益は2,429百万円(前年同期比55.2%増)となりました。

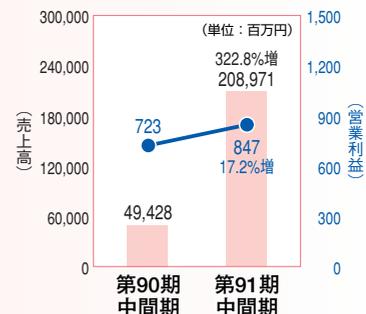


### 鉄鋼原料セグメント

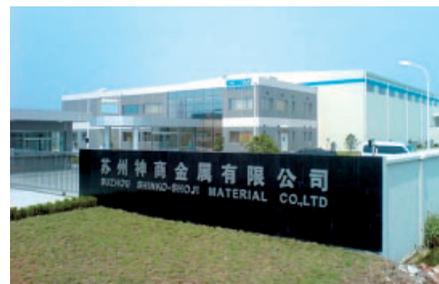


今年度より株式会社神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料のほぼ全量の納入を開始したことや、粗鋼生産が高水準で推移したことから取扱いが増加しました。加えて、鉄鉱石、石炭、合金鉄、冷鉄源、ブリーズなどの価格が高騰したこともあり取扱いが増加しました。

これらにより、鉄鋼原料セグメントの売上高は208,971百万円(前年同期比322.8%増)、営業利益は847百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

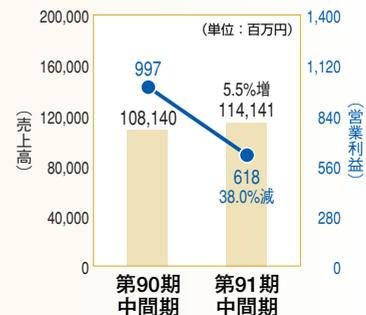


### 非鉄金属セグメント



銅製品は、半導体、自動車向け板条や空調向け銅管の取扱いが減少しました。また、アルミ製品は、液晶製造装置向け厚板加工品の取扱いは増加しましたが、印刷版、自動車向け板条などの取扱いが減少しました。一方、非鉄原料は、アルミ系原料の取扱いは減少しましたが、銅系原料は株式会社神戸製鋼所向け銅地金の取引拡大により取扱いが増加しました。

これらにより、非鉄金属セグメントの売上高は114,141百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は618百万円(前年同期比38.0%減)となりました。

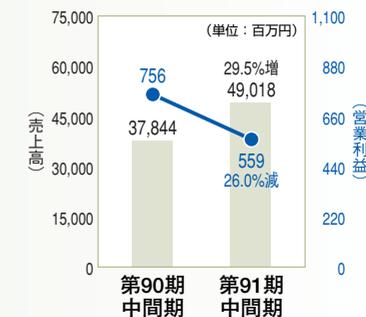


### 機械・情報セグメント



機械製品は、製鉄所向け設備納入や受注済み大型プラント工事が順調に推移したことから取扱いが増加しました。また、情報産業関連商品は、液晶用電子材料の取扱いは減少しましたが、ハードディスク関連装置やタッチパネルが堅調に推移したことなどにより取扱いは増加しました。

これらにより、機械・情報セグメントの売上高は49,018百万円(前年同期比29.5%増)、営業利益は559百万円(前年同期比26.0%減)となりました。

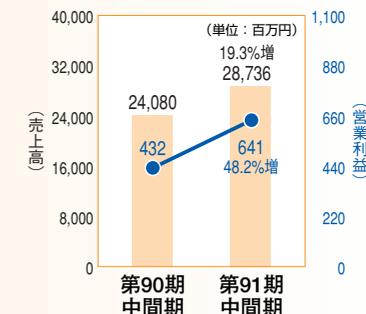


### 溶材セグメント



主な需要家である造船、建設機械業界は好調を維持し、鉄骨業界も堅調に推移したことから、溶接材料、生産材料及び溶接ロボットをはじめとする溶接関連機器の取扱いが増加しました。加えて、化工機プラント業界の海外向け需要が旺盛であったことから高付加価値溶接材料の取扱いも好調に推移しました。

これらにより、溶材セグメントの売上高は28,736百万円(前年同期比19.3%増)、営業利益は641百万円(前年同期比48.2%増)となりました。



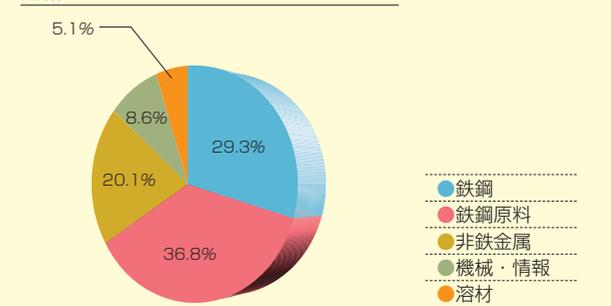
### 連結部門別売上高の構成

(単位: 百万円)

セグメント	第91期中間期	第90期中間期
鉄鋼	166,309	130,199
鉄鋼原料	208,971	49,428
非鉄金属	114,141	108,140
機械・情報	49,018	37,844
溶材	28,736	24,080
その他	345	524
(消去または全社)	△ 9	△ 16
合計	567,513	350,201

(注) 前期まで、鉄鋼原料製品は鉄鋼セグメントに含めて表示しておりましたが、当該売上高が増加し、重要性が増したため、当中間期より鉄鋼原料セグメントとして表示することといたしました。また、一部の海外子会社において損益集計を各セグメントに区分して行うことといたしました。

### 連結



## 連結決算

### 中間貸借対照表(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第91期中間期 平成20年9月30日現在	第90期中間期 平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>252,710</b>	<b>207,455</b>
現金及び預金	11,869	6,249
受取手形及び売掛金	194,050	170,951
たな卸資産	25,403	22,305
その他	21,387	7,949
<b>固定資産</b>	<b>27,922</b>	<b>28,573</b>
有形固定資産	5,320	5,515
無形固定資産	635	707
投資その他の資産	21,966	22,349
<b>資産合計</b>	<b>280,633</b>	<b>236,028</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>245,580</b>	<b>205,488</b>
支払手形及び買掛金	190,418	163,748
その他	55,161	41,740
<b>固定負債</b>	<b>12,183</b>	<b>8,651</b>
<b>負債合計</b>	<b>257,764</b>	<b>214,139</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>22,335</b>	<b>19,671</b>
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	13,997	11,332
自己株式	△ 15	△ 14
評価・換算差額等	△ 1,198	228
少数株主持分	1,731	1,989
<b>純資産合計</b>	<b>22,869</b>	<b>21,889</b>
負債及び純資産合計	280,633	236,028

### 中間損益計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第91期中間期 平成20年4月1日～平成20年9月30日	第90期中間期 平成19年4月1日～平成19年9月30日
売上高	567,513	350,201
売上原価	554,600	338,346
<b>売上総利益</b>	<b>12,913</b>	<b>11,855</b>
販売費及び一般管理費	7,757	7,306
<b>営業利益</b>	<b>5,155</b>	<b>4,548</b>
営業外収益	1,628	912
営業外費用	1,875	855
<b>経常利益</b>	<b>4,909</b>	<b>4,606</b>
特別利益	—	25
特別損失	61	365
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>4,847</b>	<b>4,266</b>
法人税、住民税及び事業税	1,787	1,461
法人税等調整額	102	336
少数株主利益	33	45
<b>四半期純利益</b>	<b>2,924</b>	<b>2,423</b>

(注) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」を適用しております。従いまして、当四半期連結財務諸表と前年四半期財務諸表とでは、作成基準が異なるため前年比較に関する情報は参考として記載しております。

### 中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(百万円未満切り捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第91期中間期 平成20年4月1日～平成20年9月30日	第90期中間期 平成19年4月1日～平成19年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,307	1,512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 295	1,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 761
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 277	195
現金及び現金同等物の増減額	5,620	2,247
現金及び現金同等物の期首残高	6,238	5,153
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	—	369
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,858	7,770

### 中間株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成20年9月30日)

(百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成20年3月31日 残高	5,650	2,703	11,332	△ 14	19,671	758	△ 5	△ 524	228	1,989	21,889
<b>四半期連結会計期間中の変動額</b>											
過年度税効果調整額			14		14						14
通貨変更に伴う剰余金の増加			35		35						35
剰余金の配当			△ 310		△ 310						△ 310
四半期純利益			2,924		2,924						2,924
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0
株主資本以外の項目の四半期連結会計期間中の変動額(純額)						△ 620	3	△ 809	△ 1,427	△ 257	△ 1,684
<b>四半期連結会計期間中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>2,665</b>	<b>△ 0</b>	<b>2,664</b>	<b>△ 620</b>	<b>3</b>	<b>△ 809</b>	<b>△ 1,427</b>	<b>△ 257</b>	<b>979</b>
平成20年9月30日 残高	5,650	2,703	13,997	△ 15	22,335	137	△ 1	△ 1,334	△ 1,198	1,731	22,869

## トピックス

### 神商非鉄株式会社 大阪コイルセンター設立

当社の連結子会社である神商非鉄株式会社は、設立時より大阪府八尾市においてレベラーシャー加工を中心としたアルミ薄板切断事業を行っており、近年、工場近隣での住宅建設の増加に伴う交通事情の悪化や住宅環境への影響を考慮して、工場移転を検討してまいりました。この度、スリッター加工会社より大阪市淀川区の工場を取得し、移転先を確保するとともに、同社事業を継承し、従来のレベラーシャー加工に加えて、新たにスリッター加工機能を併せ持つアルミコイルセンター事業を展開する運びとなり、国内において大きな競争力を得ることになりました。

また、日本と中国・蘇州市（蘇州神商金属有限公司）のアルミコイルセンター事業の二極化による安定的な供給を図り、国内外の顧客満足度の向上を図ってまいります。



なお、当社グループは、この新たな展開を「アルミ薄板事業の再構築」と位置付け、自動車、電子通信関連の需要拡大などの中長期的展望を見据えながら、アルミ薄板の拡販を図ってまいります。

### スクリュ式小型蒸気発電機「スチームスター」新機種（高出力機種）の発売

昨年6月に当社、株式会社神戸製鋼所、神鋼造機株式会社および株式会社ティエルバイとともに、小型発電機分野では世界最高効率を誇るスクリュ式小型蒸気発電機（出力100kw、製品呼称「M.S.E.G.」）を開発し販売を開始いたしましたところ、お客さまの反響は予想以上に大きく、さらに出力の高い機種、あるいはより高い蒸気圧力への対応を求める声幅広く寄せられました。これらお客さまのニーズに応えるため、その第一弾として本年7月より、出力を30%程度増強した新機種（出力132kw）の発売を開始いたしました。

また、これを契機に、製品呼称も新しく「スチームスター」に改めました。

この製品呼称は、神戸製鋼グループ社員からの公募によるもので、「分かりやすさや親しみやすさをポイントに、星のように輝く製品をイメージさせる」として選ばれたものです。

当製品シリーズは、当社が推進している「提案型ビジネス」の成果であり、戦略商品として、さらに販売を強化してまいります。



## 株式の状況

(平成20年9月30日現在)

### ●株式の概況

発行可能株式総数 270,000,000株

発行済株式の総数 88,578,436株  
(自己株式 27,189株を除く)

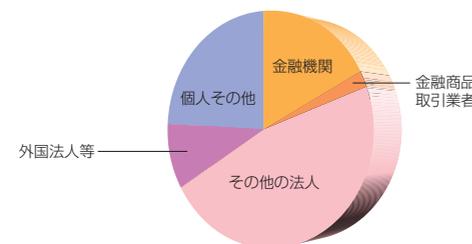
株主数 4,881名

### ●大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)	株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社神戸製鋼所	30,853	34.83	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口4G)	1,502	1.70
神商取引先持株会	4,094	4.62	神鋼電機(株)	1,500	1.69
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	2,246	2.54	ゴールドマンサックスインターナショナル	1,477	1.67
(株)三菱東京UFJ銀行	2,183	2.47	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,360	1.54
(株)三井住友銀行	2,068	2.33	日本生命保険相互会社	1,067	1.20

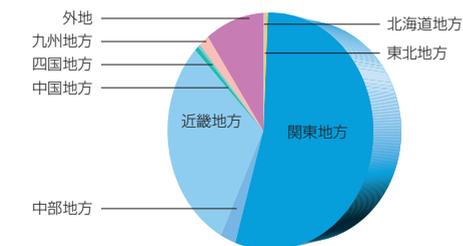
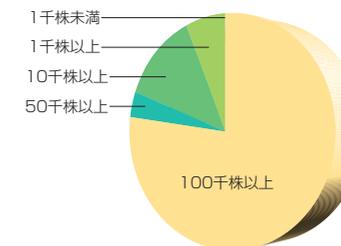
(注) 1. 持株数は、退職給付信託に提出している株式数を含んでおります。  
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

### ●株式の分布状況



### 【所有株数別】

所有株数別	名	千株	%
100千株以上	72	68,320	77.1
50千株以上	51	3,271	3.7
10千株以上	949	11,310	12.8
1千株以上	3,477	5,658	6.4
1千株未満	332	46	0.0
合計	4,881	88,605	100.0



### 【地域別】

地域別	名	千株	%
北海道地方	65	244	0.3
東北地方	77	316	0.4
関東地方	1,611	47,653	53.8
中部地方	681	2,249	2.5
近畿地方	1,751	27,215	30.7
中国地方	231	638	0.7
四国地方	142	403	0.4
九州地方	249	1,487	1.7
外地	74	8,400	9.5
合計	4,881	88,605	100.0

## 役員 (平成20年9月30日現在)

### [取締役および監査役]

代表取締役社長	森 脇 亞 人
代表取締役	中 安 悠
代表取締役	原 三 郎
代表取締役	廣 瀬 範 義
取締役	名 波 正 夫
取締役	小 村 信 綱
取締役	高 橋 伸
監査役(常勤)	中 村 三 二
監査役(常勤)	永 野 洋 邦
監 査 役	稲 葉 嘉 昭
監 査 役	平 野 重 蔵

### [執行役員]

※ 社 長	森 脇 亞 人
※ 専務執行役員	中 安 悠
※ 専務執行役員	原 三 郎
※ 専務執行役員	廣 瀬 範 義
専務執行役員	中 塚 隆 次
※ 常務執行役員	名 波 正 夫
※ 常務執行役員	小 村 信 綱
※ 常務執行役員	高 橋 伸
常務執行役員	永 井 庸 晴
常務執行役員	松 本 博 明
常務執行役員	笹 川 浩 史
常務執行役員	佐 藤 育 夫
執行役員	新 藤 和 敏
執行役員	小 林 清 文
執行役員	大 西 健 司
執行役員	森 田 哲 也
執行役員	松 尾 久 幸
執行役員	岡 本 利 一

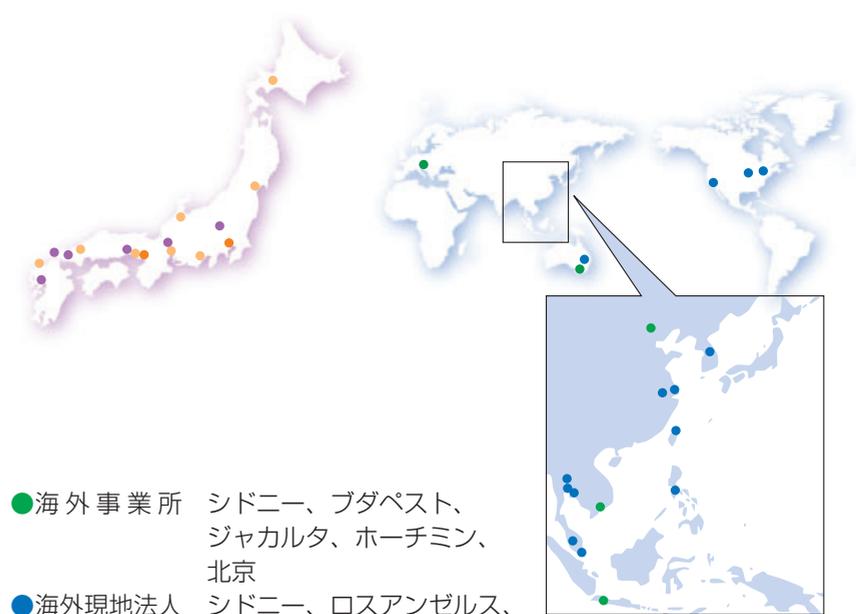
(注) 上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

## 会社概要

設 立 昭和21年11月12日  
 発行済株式総数 88,605,625株  
 資 本 金 5,650,281,250円  
 主 要 取 扱 品 目 鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業関連商品、溶材

## 事業所

- 大阪本社 大阪市西区土佐堀1丁目3番7号
- 東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2番5号
- 名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号
- 九州支社 福岡市博多区博多駅中央街1番1号
- 神戸支社 神戸市中央区脇浜町2丁目11番14号
- 支 店 中国(広島)、静岡、北陸(富山)、東北(仙台)、札幌
- 出張所 熊本、長府、徳山、加古川、岐阜、群馬



- 海外事業所 シドニー、ブダペスト、ジャカルタ、ホーチミン、北京
- 海外現地法人 シドニー、ロスアンゼルス、デトロイト、コネチカット、バンコク、アユタヤ、チョンブリ、クアラルンプール、シンガポール、蘇州、上海、台北、マニラ、ソウル

## 平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ

### 1. 特別口座について

- (1) 特別口座への口座残高の記帳  
株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます(平成21年1月26日に記録される予定です)。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する手続き  
特別口座に記録された株式に関する手続き(株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等)につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)の連絡先にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。
- (3) 特別口座の口座管理機関および連絡先  
特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

### (4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日(月)以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

### 2. 株券電子化前後における単元未満株式買取請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

- (1) 保管振替制度をご利用でない単元未満株式  
平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。  
また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。
- (2) 保管振替制度をご利用の単元未満株式  
株券電子化実施の前後において、お取引の証券会社では一定期間取次ぎを行わないと承っております。  
具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

### 3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関(証券保管振替機構)で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えるうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

### <ご参考>

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A(<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>)等をご参照ください。

また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、「株券電子化」なんでも相談窓口(「株券電子化コールセンター(\*)」)  
TEL 0120-77-0915 (通話料無料。平日・土曜/9:00~17:00)  
までお問い合わせください。

(\*) 株券電子化コールセンターは、(株)証券保管振替機構、日本証券業協会、(株)東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。